

1. 科目名 (単位数)	教育実習指導 (初等) (1 単位)	3. 科目番号	EDTE2371
2. 授業担当教員	丹 洋一		
4. 授業形態	基本的には講義、実習等を行い、グループ活動等を取り入れる	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	小学校教諭一種免許状を取得するために必要な科目を履修すること		
7. 講義概要	教育実習に対する理解を深め、教育実習生としての態度や心構えを育成する。内容としては、教育実習の意義、目的、教育実習の概要、教育実習生としての基本姿勢・生活態度、教育実習の心構え等と、教科等の学習指導案の作成及び授業実践、教育実習日誌の作成等教育実習に必要な内容について学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会人(教育公務員)としての自覚をもち、使命感をもって教育実習に臨めるようになる。</li> <li>2. 教育実習での自己の課題を考え、明確にし、自信を持って教育実習ができるようになる。</li> <li>3. 道徳の指導計画・学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができるようになる。</li> <li>4. 学校の環境や生活の流れ、学級経営の実際等、教育実習に必要な事項を理解できるようになる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>道徳の授業は、担任が行うことが基本とされるため、指導案を作成し授業を行う力が必須である。また、教育実習指導を学んだ上での自己の課題を明確にするため、期末課題としてレポートに取組む。</p> <p>課題1 道徳の指導案の作成と模擬授業 (グループ)</p> <p>課題2 期末レポート (個人 1000~1250文字 1枚)</p> <p>「教育実習指導での学びをふまえての、教育実習に向けた具体的取組みについて」</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】①文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』, 東洋館出版社, 2018年2月 ※購入が難しい時は、文科省のホームページからダウンロードすること</p> <p>②東京福祉大学編『教育実習の手引』, 東京福祉大学, 2020</p> <p>③ベストをつくす教育実習, 有斐閣, 2017年</p> <p>④久米公編著『学習指導要領準拠 漢字指導の手引き 第八版』, 教育出版株式会社, 2017年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 小学校教諭としての資質を理解しているか。</li> <li>2, 児童理解を通して授業研究に取り組もうとしているか。</li> </ol> <p>○受講に対し、次の内容を総合して評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1, 授業態度 (教科書の準備・私語・発表) 30%</li> <li>2, 学習指導案の提出 30%</li> <li>3, 模擬授業観察記録の提出 20%</li> <li>4, 模擬授業 20%</li> </ol> <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>教育実習は、やり直しのきかない一本勝負であり、教員志望者にとっては大きな関門である。多くのことを学ぶ機会であるので、恐れることなく希望を持って取り組むことができるよう、基本的な心構え・態度や知識をこの講義を通して習得されたい。</p> <p>実際の教育実習では、黒板や実習日誌等への初期での誤字・脱字・筆順の誤りが大きな減点対象になっている。そのため、ひらがな・カタカナ・数字・記号・1~6学年における筆順の主要な漢字について、教育者に不可欠な高精度な書字能力の習得を目指す。丁寧な書字については日頃からの自己点検を心掛けられたい。</p> <p>また、教育実習では、正当な理由が無く一度でも遅刻・欠勤をすると、単位取得が不可能になる。教育公務員として児童の手本となる生活態度・勤務態度ができなければ、不適格者であるという評価を受ける。清楚な頭髪や服装にし、居ずまいを正し平日頃から生活全般において自分を律した生活を心掛けることは、とても重要なことである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生証を必ず持参し、授業中は机上に提示しておくこと。(出席点検・加減点に使用するため。)</li> <li>2. 正当な理由がある欠席・遅刻・早退は、理由を書面にて提出すること。</li> <li>3. 私語・携帯による通信機能 (電話・メール・SNS等) の使用・居眠り・飲食等を禁止する。</li> <li>4. 毎回の事前学習点検に備え、予習・復習を確実に習慣化すること。</li> <li>5. 試験勉強・受験勉強で役立つよう、学習したページには付箋を貼ること。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	Office-Hour は第1回に提示する。予約済時間で無駄足にならぬよう、E-mail で Appointment をとること。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 主免許小学校教育実習の目的と意義 黒板の使い方・筆記用具の準備	事前学習	②pp. 1~7, pp. 23~31・③「1 教育実習が始まる前に」 pp. 18~19 の主免許小学校教育実習の目的と意義に関連する項を通読し、重要な部分にアンダーラインを引く。 (①~④の記号は、教科書を表す。) 教科書②は毎年の改訂でページ数が増えるため、ページ記載はめやすと考え、実際のページは自分で探すこと。
		事後学習	主免許小学校教育実習の目的と意義に関する重要事項を整理し、自己のノートに記録する。
第2回	グルーピング 道徳教育の目的と内容、授業設計の方法	事前学習	①pp. 20~24, pp. 116~121・③「3 学習指導案の書き方」 pp. 56~71 の道徳教育の目的と内容、授業設計の方法に関連する項を通読し、重要な部分にアンダーラインを引く。 (①~④の記号は、教科書を表す。以下同様)

		事後学習	道徳教育の目的と内容、授業設計の方法に関する重要事項を整理し、自己のノートに記録する。
第3回	硬筆でのひらがなの書き方 指導案の書き方と構想	事前学習	②pp. 31～32・③「3 学習指導案の書き方」 pp. 56～57, 68～69 の指導案の書き方に関連する項を通読し、重要な部分にアンダーラインを引く。
		事後学習	指導案の書き方に関する重要事項を踏まえ、道徳の指導案等の作成に取組む。
第4回	硬筆でのカタカナの書き方 実習日誌の書き方	事前学習	②pp. 17～21, pp. 28～30・③「5 実習日誌はこう書こう」 pp. 100～111 を通読し、重要な部分にアンダーラインを引く。
		事後学習	実習日誌の書き方に関する重要事項を整理し、自己のノートに記録する。
第5回	模擬授業のリハーサル (指導案・教材等提出 第5回の週末金まで)	事前学習	指導案・細動案・板書計画・教材等の作成を完了し、模擬授業のリハーサルの準備を整える。
		事後学習	模擬授業のリハーサルの反省点を元に、指導案・細動案・板書計画・教材等を修正する。指導案・教材等を第5回の週末金曜日まで提出する。
第6回	道徳の時間の模擬授業1 教育実習日誌の記載練習	事前学習	道徳の時間の模擬授業1の準備を行う。また、教育実習日誌の記載練習に関連する項を再読する。
		事後学習	道徳の時間の模擬授業1、教育実習日誌の記載練習で感じた反省点を自己のノートに記録する。
第7回	道徳の時間の模擬授業2 教育実習日誌の記載練習	事前学習	道徳の時間の模擬授業2の準備を行う。また、教育実習日誌の記載練習に関連する項を再読する。
		事後学習	道徳の時間の模擬授業2、教育実習日誌の記載練習で感じた反省点を自己のノートに記録する。
第8回	数字と記号の書き方 グループと個人の模擬授業の反省	事前学習	ノートに記録済みの個人の模擬授業の反省を再確認し、発言に備えてアンダーラインを引く。
		事後学習	グループと個人の模擬授業の関する反省を整理し、自己のノートに記録する。
第9回	1学年の基本筆順の漢字(33字/43字) 教育実習までの事前準備	事前学習	②pp. 8～11・③「1 教育実習が始まる前に」 pp. 4～29 の教育実習までの事前準備に関連する項を通読し、重要な部分にアンダーラインを引く。 ④の1学年の漢字43字の項を通読する。
		事後学習	教育実習までの事前準備に関する重要事項を整理し、自己のノートに記録する。
第10回	1・2学年の基本筆順の漢字(10/43字+20/44字) 教育実習の心得	事前学習	②pp. 11～15, p. 25・③「2 実習中の心得」の教育実習の内容に関連する項を通読し、重要な部分にアンダーラインを引く。 ④の2学年の漢字32字の項を通読する。
		事後学習	教育実習の内容に関する重要事項を整理し、自己のノートに記録する。
第11回	2学年の基本筆順の漢字(22/44字) 小学校教育実習の評価	事前学習	②pp. 21～22, pp. 26～27・③「2 実習中の心得」 pp. 52～53 の教育実習の心がけに関連する項を通読し、重要な部分にアンダーラインを引く。
		事後学習	教育実習の評価に関する重要事項を整理し、自己のノートに記録する。
第12回	3学年の基本筆順の漢字(35/35字) 授業の実際	事前学習	②pp. 15～17・③「4 授業の実際」 pp. 84～99 の授業の実際に関連する項を通読し、重要な部分にアンダーラインを引く。 ④の3学年の漢字35字の項を通読する。
		事後学習	小学校教育実習の授業の実際に関する重要事項を整理し、自己のノートに記録する。
第13回	4学年の基本筆順の漢字(18/30字) 目指す教師像と礼儀作法	事前学習	②pp. 8～12, p. 20～21, pp. 33～35・③「2 実習中の心得」 pp. 30～35 の目指す教師像と礼儀作法に関連する項を再確認し、重要な部分に

			アンダーラインを引く。 ④の4学年の漢字18字の項を通読する。
		事後学習	目指す教師像と礼儀作法に関する重要事項を整理し、自己のノートに記録する。
第14回	5・6学年の基本筆順の漢字(12/30字+11/11字) 教育実習の自己の課題の言語化	事前学習	③「6教員採用試験に向けて」pp.114～129を通読し、重要な部分にアンダーラインを引く。 教育実習の自己の課題について考え、ノートにレポートの構想を記録する。 ④の5・6学年の漢字12+11字の項を通読する。
		事後学習	教育実習の自己の課題への取組みについてレポートを作成する。高精度な書字と筆順の習得ができたか総復習する。
第15回	講義のまとめ期末レポート提出 高精度な書字と筆順の習得確認シート提出	事前学習	自己の課題を克服するための取組みを明らかにしたレポートを完成する。
		事後学習	自己の課題への解決行動を開始する。